

田中青坪 永遠のモダンボーイ

TANAKA Seihyo : THE ETERNAL MODERN BOY

2016 年 3 月 19 日(土)~5 月 17 日(火)



田中青坪 《花による少女》昭和 4（1929）年 熊本県立美術館所蔵



はじめに

田中青坪（たなかせいひょう）という画家を知っていますか。

大正、昭和と日本美術院を中心に活躍した、群馬県前橋市生まれの日本画家です。3歳のとき、一家で移り住んだ東京・浅草では、芝居や映画などを身近に感じながら青春時代を過ごし、はじめ洋画を学びますが、18歳で小茂田青樹に師事し、日本画家の道を進みます。屈託のない性格で、仲間内からは「永遠のモダンボーイ」などと呼ばれました。戦後はモダニズムを追求した作風を展開し、次々に新風を試みながら、晩年は深い自然観照による風景画を制作し、独自の世界を探求しました。

その温厚で誠実な人柄から、所属団体や洋画・日本画の区別なく多くの画家と交流を持ち、将棋仲間であった梅原龍三郎ら洋画家との交流は、モダニズムを追究する青坪の表現に影響を与えました。マチスやピカソ、デュフィなど西洋絵画の研究は、構図や色彩に活かされ新しい日本画を模索しました。同系色の絵具を幾重にも重ねながら表現する微妙な色調は、青坪の特徴であり、大きな魅力をたたえています。

はじめての回顧展となる本展覧会では、当館所蔵作品のほか、日本美術院出品作を中心に県内外の美術館や個人所蔵家より集められた本画やスケッチなど、各年代の優品を集めて展示します。戦後は、制作以外のことに煩わされるのを嫌って画廊などでの作品発表を行わなかったため、作品を一堂に見られる貴重な機会です。およそ70年の画業をぜひご覧ください。

また、特別展示として市内所蔵家の協力を得て、青坪が生まれた明治期から昭和初期の前橋の様子を伝える貴重な風景絵葉書をご紹介します。あわせてお楽しみください。

アーツ前橋

開催概要

【展覧会名称】「田中青坪 永遠のモダンボーイ」

【会 期】3月19日（土）～5月17日（火）

※会期中、一部展示替えを行います。

【開 館 時 間】11:00～19:00（入場は 18:30 まで）

【休 館 日】水曜日（5月4日（水）は開館し、5月6日（金）は休館）

【会 場】アーツ前橋

【観 覧 料】一般：500 円／学生・65 歳以上・10 名以上の団体：300 円／

高校生以下：無料

※4月10日（日）は前橋中心商店街ツナガリズム祭りのため無料

※5月7日（土）は田中青坪の命日のため無料

※障害者手帳等お持ちの方と介護者1名は無料

※トワイライト割（17:00 以降に入場される方）：300 円

【主 催】アーツ前橋

【後 援】上毛新聞社、朝日新聞前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、
産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、共同通
信社前橋支局、時事通信社前橋支局、NHK 前橋放送局、群馬テレビ、FM
GUNMA、まえばし CITY エフエム

■展覧会カタログ

書籍名：『田中青坪 永遠のモダンボーイ』

発行：水声社

定価：本体 2,000 円＋税

仕様：B5 変判・104 ページ（予定）

発行日：2016 年 3 月 30 日（予定）

■関連イベント

①「ギャラリーコンサート」

日時：3月21日（月・祝）15:00 開演
会場：アーツ前橋 地下ギャラリー
出演：群馬交響楽団による弦楽四重奏
その他：当日の展覧会観覧券が必要となります。

②「岩絵具で描いてみよう」

日時：3月27日（日）14:00～17:00
会場：アーツ前橋 スタジオ
対象：小学校高学年以上
定員：15名程度〔要事前申込〕
講師：井田昌明（日本画家）
内容：日本画材を使って、模写をします。

③「前橋名所絵はがき散策ツアー」

日時：4月29日（金・祝）14:00～17:00
定員：20名程度〔要事前申込〕
講師：太田智也（あたご歴史資料館運営委員）
内容：明治から昭和期に発行された名所絵はがきの場所を街歩きします。
協力：設楽光弘〔（医）三思会 東邦病院勤務〕

④「自分で作った絵具で描こう」

日時：4月30日（土）14:00～16:00
会場：アーツ前橋 スタジオ
対象：小学生
定員：15名程度〔要事前申込〕
講師：須藤和之（日本画家）
内容：鉱物を砕いて絵具を作り、絵を描きます。

⑤「学芸員によるギャラリーツアー」

日時：3月19日（土）、4月14日（木）、5月15日（日）14:00～15:00
集合場所：アーツ前橋1階総合案内前
内容：担当学芸員による作品の解説ツアー
その他：当日の展覧会観覧券が必要となります。

⑥「こどもアート探検」

日時：3月26日（土）、5月5日（木・祝）14:00～
集合場所：アーツ前橋1階総合案内前
対象：小学生以下
内容：サポーターとお話ししながらの作品鑑賞します。

■同時開催企画

- 【展覧会名称】「Art Meets 03 石塚まこ／康（吉田）夏奈」
【会 期】3月19日（土）～5月31日（火）
【開館時間】11:00～19:00（入場は18:30まで）
【休 館 日】水曜日（5月4日（水）は開館し、5月6日（金）は休館）
【会 場】アーツ前橋 ギャラリー1
【観 覧 料】無料
【主 催】アーツ前橋
【助 成】IASPIS
【協 力】アートフロントギャラリー

作家プロフィール



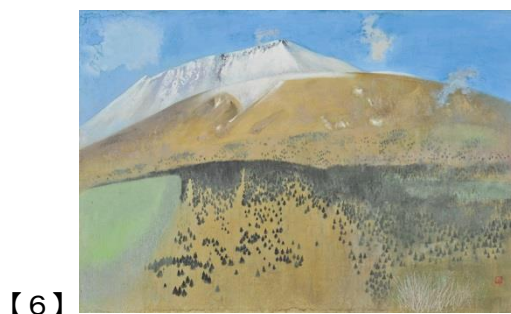
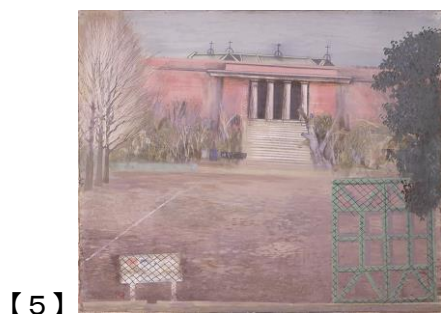
田中青坪（たなか せいひょう）

明治 36（1903）年群馬県前橋市本町生まれ。3 歳で東京都台東区に一家で転居し、15 歳から太平洋画会研究所で洋画を学び始める。大正 10（1921）年小茂田青樹に師事し、日本画に転向。大正 12（1923）年第 9 回日本美術院試作展に出品した《少女》が日本美術院賞一席となる。大正 13（1924）年再興第 11 回日本美術院展に《子女図》で初入選。昭和 7（1932）年、奥村土牛や小倉遊亀とともに、29 歳の若さで日本美術院の最高位である同人に推挙される。昭和 16（1941）年群馬美術協会の結成に参加。昭和 19（1944）年東京美術学校（現・東京藝術大学）助教授に就任。昭和 42（1967）年再興第 52 回院展で《春到》が文部大臣賞を受賞。昭和 53（1978）年再興第 62 回院展に出品した《浅間山》が文化庁買上となった。昭和 59（1984）年東京藝術大学名誉教授となる。昭和 60（1985）年横山大観記念館理事長に就任。日本美術院評議員など歴任し、平成 6（1994）年没。

本展の見どころ

1. 小倉遊亀や奥村土牛とともに、29 歳の若さで日本美術院同人に推挙され、院展を中心に活躍した日本画家、田中青坪の初めての回顧展です。個人所蔵家からも作品を拝借するため、未公開作品も多数展示します。
2. 《花による少女》（熊本県立美術館所蔵）や、《竹筍》《孔雀》（永青文庫所蔵）など戦前の代表作から、晩年の浅間シリーズまで約 70 点を紹介します。戦後は日本美術院展覧会（院展）への出品のみで、画廊などでの作品発表や個展を開催しなかったため、本展覧会は、一堂に作品を見られる貴重な機会です。
3. 中国絵画や琳派のみならずデューラーやピカソ、デュフィなどの西洋絵画に対する地道な研究をもとに、常に新しい日本画の表現を模索し続けました。昭和 30 年に取り組んだ裸婦を中心とした人物画や静物画では、日本画特有の線描と西洋絵画の陰影法を取り入れ、独自の表現を追求しました。
4. 青坪の集大成といえる浅間シリーズ 5 点を全国各地から集め展覧します。描写を基礎としながら、その構図や色彩などを考え尽くして、刻々と変化する自然の一瞬をとらえた作品群をご覧ください。
5. 師である小茂田青樹や、同時期に活躍した小倉遊亀、奥村土牛などの関わりのあった日本画家の作品や、青坪が特に好きだったというラウル・デュフィの作品を展示します。

貸出図版



- 【1】 田中青坪《花による少女》昭和4（1929）年 熊本県立美術館所蔵
【2】 田中青坪《少女》昭和7（1932）年 個人蔵
【3】 田中青坪《春到》昭和42（1967）年 東京藝術大学所蔵
【4】 田中青坪《孔雀》昭和7（1932）年 永青文庫所蔵
【5】 田中青坪《早春》昭和38（1963）年 個人蔵
【6】 田中青坪《浅間高原（五）》昭和55（1980）年 アーツ前橋所蔵

記事掲載についてのお願い

- ・掲載にあたっては、展覧会名称と会期を表記してください。
- ・画像等を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。
- ・掲載記事やVTRは、資料として保管いたしますのでアーツ前橋までご送付ください。
- ・取材及び収録等の際は、必ず事前にお問い合わせください。

お問い合わせ先

アーツ前橋

前橋市役所文化スポーツ観光部文化国際課 担当：山田（広報担当）、辻（学芸担当）

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町 5-1-16

TEL：027-230-1144 FAX：027-232-2016 <http://www.artsmaebashi.jp>

E-MAIL：artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

交通案内

●電車

JR 前橋駅北口から徒歩約 10 分

上毛電鉄中央前橋駅から徒歩約 5 分

●自動車

関越自動車道 前橋 I.C から車で約 15 分



※地図内Pマークの駐車場のご利用に関しては、駐車券に割引処理いたします。

アーツ前橋企画展「田中青坪 永遠のモダンボーイ」 広報用画像申込書

アーツ前橋 広報担当 宛 FAX 027-232-2016

ご希望の画像の番号に○をつけてください。画像(JPEG)をメールにてお送りいたします。

*本展覧会の広報を目的とする場合に限り、ご提供致します。個人のブログ等への掲載や鑑賞等を目的とする場合にはご提供できません。

*掲載にあたっては、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。

番号	キャプション・クレジット等
【1】	田中青坪《花による少女》昭和4(1929)年 熊本県立美術館所蔵
【2】	田中青坪《少女》昭和7(1932)年 個人蔵
【3】	田中青坪《春到》昭和42(1967)年 東京藝術大学所蔵
【4】	田中青坪《孔雀》昭和7(1932)年 永青文庫所蔵
【5】	田中青坪《早春》昭和38(1963)年 個人蔵
【6】	田中青坪《浅間高原(五)》昭和55(1980)年 アーツ前橋所蔵

◎読者プレゼント用招待券(5組10名様分) ☐希望します ☐希望しません

媒体情報 *できるだけ詳しくご記入ください

掲載誌：	
発行日：	発行元：
貴社名：	
部署名：	担当者名：
所在地：〒	
TEL：	FAX：
E-MAIL：	